

キャラクター名 _____
 アイン・レーヴェンハイト

プレイヤー名 _____

種族	ドレイク	種族特徴	暗視/限定竜化/光ブレス/弱点(魔法+2)		
生まれ	神官戦士	性別	男性	年齢	27
冒険者Lv	10	経歴	人族の歴史に興味がある		
経験点	1750		始まりの剣に触れたことがある 殺戮に飽きた		

技	12	能力値	A-F	成長	他修正	能力値	ボーナス	技能	Lv.	技能	Lv.
		器用度	5	13		30	5		ファイター		9
体	12	敏捷度	6	8		26	4	コンジャラー	2		
		筋力	11	17		40	6	プリースト/キルヒア	10		
心	6	生命力	10	6		28	4	フェアリーテイマー	5		
		知力	11	11		28 + 1	4	セージ	5		
		精神力	5	9		20	3	エンハンサー	2		

戦闘特技			言語	会話	読文
タフネス	2122p		交易共通語	○	○
鋭い目	2120p		神紀文明語		○
武器習熟A/ウォーハンマー	1B31p		ドラゴン語	○	
防具習熟A/盾	1B31p		ドレイク語	○	○
なぎ払い	1B38p		汎用蛮族語	○	○
頑強	1B29p		魔動機文明語	○	○
魔法拡大/数	1B39p		魔法文明語	○	○
	p		妖精語	○	
	p				
	p				
	p				
	p				

練技/呪歌/騎芸/賦術		
キャッツアイ		
パラライズミスト		

技能	技能 レベル	基本 命中力	基本 回避力	基本追加 ダメージ
ファイター	9	14	13	15
グラップラー	0			
フェンサー	0			
シューター	0			

鎧と盾		必要 ランク	筋力	回避力	防護点
鎧	イスカイアの魔導鎧		20		7
盾	ストロングホルド		22		3
	その他補正(防具習熟/回避行動 etc)				1
回避技能	ファイター	合計値	13	12	

武器	用法	必要 筋力	命中 修正	命中力	C値	追加 ダメージ	威力	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
スレッジハンマー	1H	22	-1	2d+ 13	10	16	32											
ボマーカートリッジ×3装備 スレッジフォートレス	2H	22	-2	2d+ 12	10	16	47											
				2d+														
				2d+														
				2d+														
				2d+														
				2d+														

制限移動	通常移動	全力移動	回避	防護点	HP	魔法技能	Lv.	魔力	魔法技能	Lv.	魔力
3 m	31 m	93 m	2d+ 13	12	88	操霊魔法	2	6			
魔物知識/弱点	先制力	生命抵抗	精神抵抗	MP		神聖魔法	10	14			
2d+ 10	2d+ 0	2d+ 14	2d+ 13	73		妖精魔法	5	9			

装備品	説明
頭 とんがり帽子	マモチキ+1
耳 聖印	イヤリング型
顔 狩人の解析鏡	マモチキ成功時命中+1
首 自由に羽ばたく翼のシールド	命中+1・行使判定+1・穢れ-3
背中 宝石ケース	闇・光・風の宝石(200+150:*2G)+箱代100G
右手 知力の指輪	
腰 ブラックベルト	
足 韋駄天ブーツ	
その他	

装備品	説明
左手 アルケミーキット	

その他メモ	自動失敗 チェック
ダグニア地方イレステアルの出身。 両親は戦乱で死亡し、レーヴェンハイト家ただ一人の生き残りとなる。 優れたドレイクの戦士であり、家を残すために国内外で戦いに明け暮れていた。 そんな中、任務である小さな村に赴いた時だった。深夜、起きているのか寝ているのかも曖昧な状態で彼は宿の外に出た。何かに呼ばれたからだ。フラフラ曖昧な意識の中その声を追うと、小さな洞窟があった。 そこに声の主が居る―― そう思い、中に入ると、一振り剣が岩に刺さっていた。 彼は呼ばれるがままに、その剣に近づき、そして触れた。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ⑤ <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ⑩ <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ⑮ <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ⑳ <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ㉑ <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ㉒ <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ㉓
瞬間、頭に衝撃が走った。 痛みと共に、彼はバルバロス世界の面の一つであり、人族もまた、同様であることを知った。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ㉔ <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ㉕

